

決戦

『イノベーション経営の秘訣』

ヒト・モノ・カネに情報が付け加わる。

本のなかに書かれてあることは、知識ではなくて情報である。

①『メシアの法』に説かれる「AIと監視社会の問題点」

『メシアの法』／第1章 エローヒムの本心

時代が二十一世紀になって変わってきたと思われるものの一つに、「AI全体主義」といわれるようなものが出てきているということがあります。【中略】

ちょっと似ているけれども、別な言葉で言うと、「監視資本主義の時代」が始まったとも、今、言われています。

これは、別に中国のようなどころだけのことを言っているわけではありません。アメリカや、あるいは日本にもあるし、中国にもあるし、ほかのところにもあるけれども、「GAF A」というような、グーグルとかアップルとかフェイスブック（現・メタ）とかアマゾンとか、こういう巨大企業によるものです

『減量の経済学』／第3章 「減量の経済学」「聖なるもの」「価値のあるもの」に集中せよ

「フェイスブック」（現・メタ）という名で呼ばれた会社は「GAF A」の一角ですけれども、ザッカーバーグが会社の名前を変えてやろうとしているのは、“仮想空間のなかでの遊び”です。

アバターゲームのような、自分の分身みたいなものを映像のなかに入れて、いろいろな体験をさせるみたいな“遊び”をつくり、これで人の時間を奪おうとして、金儲けをしようとしてやっています。

しかし、実際、この世で生きていくこと自体がアバターなのです。【中略】

だから、無駄なことに時間を使わないでほしいと思います。そんなことだったら、無駄なものを削って、ちゃんと内容のある書物でも読んでいるほうがよほどましだと思います。

○2020年1月23日、日本政府は「ムーンショット計画」

「ムーンショット目標1」2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現

・2050年までに、複数の人が遠隔操作する多数のアバターとロボットを組み合わせ

ることによって、

大規模で複雑なタスクを実行するための技術を開発し、その運用等に必要な基盤を構築する。

・2030年までに、1つのタスクに対して、1人で10体以上のアバターを、アバター1体の場合と同等の

速度、精度で操作できる技術を開発し、その運用等に必要な基盤を構築する。

📺政府が発表した動画

○トランス・ヒューマニズムーAIロボット工学による超人間主義の台頭

・「第四次産業革命は人間の定義が変わる」と主張する者たちの台頭
・実は世界では、自分からマイクロチップを埋め込み、アップグレードさせる人が増えている

○マインド・アップローディングー仮想空間で生きる不老不死

- ・脳のデータをすべてコンピューター化させて仮想空間で暮らす
- ・「あの世は仮想空間」という間違った思想
- ・オススメドラマ『アップロード～デジタルなあの世へようこそ』

②唯物的精神医学の惨状ー主が何度も説かれている「病気の原因の7割が霊的影響」という真理ー

『神秘の法』(44刷)／第2章 憑依の原理

「波長同通の法則」があり、霊が憑くには憑くだけの理由が必ずあります。何か理由がなければ霊は憑きません。霊が憑くからには、その憑いたものと憑かれるものと同じ心があります。両者は同質の心を持っているのです。

精神医学の問題点

○モノアミン仮説

・ルアドレナリン、ドーパミン、セロトニンといった化学物質の不均衡により精神疾患という仮説

- ・そもそも脳内のモノアミンは測定できない
- ・模原の障害者施設で大勢が死傷した大事件の犯人に対して4人の精神科医は7つの異なる病名をつけた

○賦活症候群（アクチベーションシンドローム）

- ・抗うつ薬や統合失調症薬などの添付文書には、
「自殺企図」、「自殺念慮」、「自殺のリスクが増加」、「攻撃性」、「敵意憎悪」と書かれている
- ・『全国自死遺族連絡会』の代表田中幸子さんの息子さんは通院一カ月半で家族を残して自殺

- ・「コロンバイン高校銃乱射事件」をはじめアメリカで起き続けている銃乱射事件
「全日空61便ハイジャック機長刺殺事件」、「西鉄バスジャック事件」、「池田小学校事件」、
「佐世保散弾銃乱射事件」、「京アニ放火殺人事件」など。

○おかしな治療方法

- ・世界初の向精神薬ソラジンは、もともとは染料や豚の寄生虫駆除剤として作られた



・今も行われる電気痙攣療法、「ECT (Electro Convulsive Therapy)」

- ・かつて行われていたロボットミーは大勢の廃人を輩出した
- ・ニュース記事「「非倫理的で危険」と学会声明 子どもへの頭部磁気治療で」

⇒

○精神病院

- ・日本では合計約30万人が入院、日本は世界一、精神病床が多い国で世界の5分の

1

- ・精神病院内での身体拘束も増えており、約1万3千人
- ・病院内では、虐待による殺人事件、性的虐待も発生
- ・50年以上、入院させられているのは1773人(2018年)
- ・一カ月に死亡退院する人の数は2000人
- ・生きて退院できる人は1ヵ月、30万人のうち300人、つまり1000人に1人の割合、0.1%の確率

○発達障害

- ・この診断も「モノアミン仮説」と同様に実は科学的根拠を持たない
- ・2019年3月26日、厚生労働省は「リスデキサンフェタミン」「ビバンセ」を発達障害薬として承認

しかしその前年にアップされた厚生労働省のホームページにこの「リスデキサンフェタミン」について

「新たに1物質を覚醒剤原料に指定し規制の強化を図ります」とある、つまり政府は覚醒剤と認識している

○「心の風邪」という鬱キャンペーン

・80年代にうつめの定義がわり激増、「理由なく感情の消失」→「理由あり元気が出ない」

・心療内科の創設、精神科から心療内科にすることでイメージをマイルドに、テレビドラマ『心療内科涼子』

・1999年「うつは心の風邪」というキャンペーン（GSK）

③『地獄和尚』に予言的に記されている「ワクチンの問題点」－日本はさらに危険領域に－

『小説 地獄和尚』／小説 地獄和尚／（三）

僧「あいや、待たれよ。」

男「もう、生きていく自信がないんだ。」

【中略】

男「娘がシングル・マザーで子育てしていたんだ。しかし、先日、中2の孫――陸上をやっている元気な男の子だったんだが――二回目のコロナワクチンの予防接種したら、三時間後にお風呂の中で死んでいたんだ。ワクチン接種以外の原因は何も考えられない。医者、病院、厚生労働省、どこにクレームを言っても、『バカバカしい』と言って聞いてくれないんだ。今の内閣は、何も聞く耳を持っていないんだ。日本ももう終わりだ。」

○日本の超過死亡者数は11万3千人

※アメリカ・ワシントン大学の研究チームが、イギリス『ランセット』に74カ国と地域を対象に、2020年1月から2021年12月までの超過死亡を推定した論文を発表し、日本の超過死亡数は11万1000人と推定され、確認されたコロナによる死者1万8400人の6.0倍だった。（東洋経済オンライン）

○高学歴の人ほどワクチンを接種した！？

遵守者（ワクチン接種の遵守者）は、非遵守者と比較して、より高い一般知能スコアおよび軍事社会スコアを示した。知能の高さは、ワクチン遵守の最も強力な予測因子だった。（イスラエルの論文より）



○レプリコンワクチン—自己増殖型ワクチンのシェディングの危険性

- ・世界で類を見ない頻回接種で最多の人で7回
- ・8回目は世界で日本だけが認証した世界初の自己増殖ワクチン
- ・同じく政府とマスコミはまたも安全と主張

○パンデミック条約とIHRの危険性

【パンデミック条約の問題点】

- ・製薬会社に対して可能な限りインセンティブ（奨励金）を提供する
- ・WHO事務局長が政府の同意を得ることなく、自らの権限で緊急事態を宣言できる
- ・ソーシャルメディアや情報伝達チャンネルを通して管理し、虚偽の情報に対抗する

【IHR改訂の問題点】

- ・「勧告」から「義務」への変更。「諮問機関」から「統治機関」への変更
- ・WHOの事務局長が独断で決められる。潜在的な緊急事態も対象とする
- ・尊厳、人権、自由の無視：条文中から「人々の尊厳、人権、基本的自由の尊重」を削除
- ・予防薬やワクチンの証明、治療を義務づける権限を与える

○緊急事態条項による独裁政権の誕生の危機

- ・ナチスドイツはワイマール憲法48条「国家緊急権（非常事態措置権）」を上手く利用して独裁政権の樹立

👉今こそ真の自由、民主、信仰の日本へ